

津山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	コミュニケーション学 I
科目基礎情報					
科目番号	0107		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(情報システム系)		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	なし				
担当教員	角谷 英則				
到達目標					
学習目的: 社会的な思考の方法をまなぶことを通じて教養を深め、視野をひろげること。 到達目標: 人文・社会科学的な視点からコミュニケーションという現象について多面的に理解するための視角を獲得すること。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	十分に授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	10時間をこえて欠席すること	
評価項目2	指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度合ったレポートを提出すること	指示に最低限したがったレポートを提出すること	指示に合ったレポートを提出しないこと	
評価項目3	なし	なし	なし	なし	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	一般・専門の別: 専門 人文・社会 基礎となる学問分野: 国際コミュニケーション 学習教育目標との関連: 本科目は総合理工学科学習教育目標「④教養豊かな実践的人間力の養成 ⑤グローバルな視点と社会性の養成 ⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要: この授業においては、コミュニケーションに関する具体的問題を個別具体的にとりあげ、その社会的把握をめざす。				
授業の進め方・方法	授業の方法: 基本的には演習形式によって進める。 成績評価方法: 原則として2回の試験または口頭報告で評価する (50%×2)				
注意点	履修上の注意: 本講義では、授業時間外における学生自身による準備が必要となることに留意されたい。本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修 (欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下) が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス: カリキュラムにおいて設定されている時間数に比するならば、学習内容は膨大である。授業においてすべてを網羅することは不可能なので、図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。 基礎科目: 世界史 (1年) 倫理 (1) 日本史 (2) 政治経済 (2) 関連科目: 社会科学概論 (専2) 受講上のアドバイス: 遅刻に対するペナルティは特にもうけないが、受講者の良識を期待する。特別な事前学習は必要ではない。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
履修選択					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	コミュニケーションの基本構造(1)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		3週	コミュニケーションの基本構造(2)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		4週	コミュニケーションの基本構造(3)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		5週	社会言語学における、コミュニケーションをめぐる議論(1)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		6週	社会言語学における、コミュニケーションをめぐる議論(2)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		7週	社会言語学における、コミュニケーションをめぐる議論(3)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		8週	後期中間試験	指示にしたがって課題をこなすこと。(評価項目2)	
	2ndQ	9週	コミュニケーションにかかわる権利論(1)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		10週	コミュニケーションにかかわる権利論(2)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		11週	コミュニケーションにかかわる権利論(3)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		12週	障害学的言語権論について(1)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		13週	障害学的言語権論について(2)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		14週	障害学的言語権論について(3)	以下、当該週のための準備および学習内容の定着を行うこと。(評価項目1)	
		15週	後期末試験	指示にしたがって課題をこなすこと。(評価項目2)	
		16週	まとめとふりかえり		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

